

➤ 千代田区では、地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を、区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する取り組みを行っている。令和2年度においては、以下の取り組みにより、新たに 8.41haの間伐、0.07haの造林、haの下刈りが実施され、森林の有する公益的機能の発揮につながった。

- ・ 岐阜県高山市と連携し、8.41haの間伐を行った。群馬県嬲恋村と連携し、0.07haの造林、6.1haの下刈りを行った。
- ・ 令和3年度においても、各地方都市と連携して森林整備事業の推進と地球温暖化対策の両立を図る。

事業内容

1 地方との連携による森林整備事業

- ・ 地方都市との協定に基づき、区が地方都市の森林整備事業（間伐等）に協力し、森林整備によるCO₂吸収量を区から排出されるCO₂の一部と相殺（カーボン・オフセット）する。（区は整備事業費用の1/2を協定により負担する。）

【連携先】岐阜県高山市（協定締結：平成24年6月26日）

群馬県嬲恋村（協定締結：平成28年12月21日）

【事業費】769千円（全額譲与税）

【実績】間伐 8.41ha（高山市）

造林 0.07ha（嬲恋村）

下刈り 6.1ha（嬲恋村）

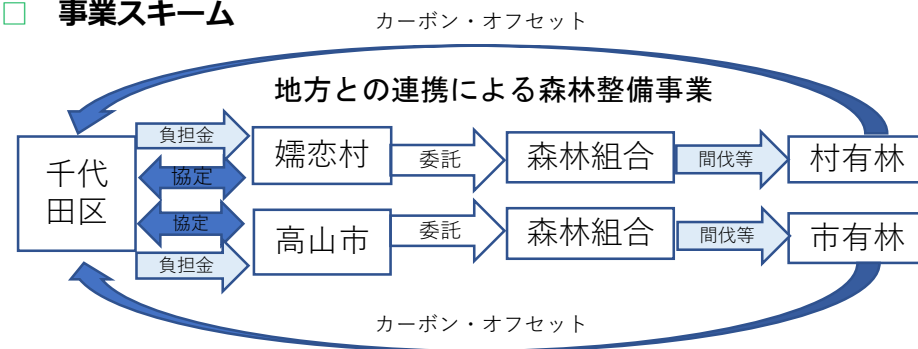


(1) 下刈りの様子（嬲恋村）



(2) 整備対象林の表示板（高山市）

事業スキーム



工夫・留意した点

- ・ 連携先の自治体と前年度末から年度当初にかけて協議を行い、整備対象林の状況等を踏まえて整備規模等を決定した。

基礎データ

①令和2年度譲与額	14,700千円
②私有林人工林面積（※1）	0ha
③林野率（※2）	0%
④人口（※3）	58,406人
⑤林業就業者数（※4）	94人

※1：「森林資源現況調査（林野庁、H29.3.31現在）」より、

※2：「2015農林業センサス」より、※3、4：「H27年国勢調査」より